

上流 中流 下流



アユ

川魚を代表する魚で、1年間の一生で海から上流までを行き来することから、森里海の健全なつながりの指標ともなります。

上流 中流 下流



アマゴ (アメゴ)

その体型や模様から「渓流の女王」とも言われ、釣り人に人気のある魚です。

上流 中流 下流



コイ

全長80cm以上になり、初夏には浅場の水草に乗り上げて水しぶきをあげながら産卵します。

上流 中流 下流



ウグイ (イダ)

上流から下流まで広く生息し、鏡川で最も多い魚です。全長は45cmほどになります。

上流 中流 下流



オイカワ (ハヤ)

夏の産卵期には、オスは美しい婚姻色をまといます。ひし形のうろこでカワムツと区別できます。

上流 中流 下流



タカハヤ

上流域に多く、体中にゴマをふったような細かい黒点があります。

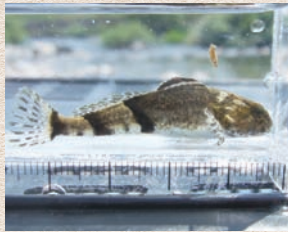
上流 中流 下流



ニゴイ

コイよりもスマートで、成魚は全長60cm以上になります。雑食性で小魚もよく食べます。

上流 中流 下流



アユカケ (カマキリ)

石化けの名人で、えらに鎌のようなとげがあり、アユを引っ掛けて食べると言われています。絶滅危惧II類(※)

上流 中流 下流



カワヨシノボリ (ゴリ)

稚魚が海に下りず、一生を川で過ごすため、鏡ダムより上流にも生息します。

上流 中流 下流



シマヨシノボリ (ゴリ)

頬に細かいミミス状の線があります。産卵期は腹部が美しい青色になります。

上流 中流 下流



ゴクラクハゼ (ゴリ)

砂底を好み、体側には美しい青い斑点があり、頬は複雑な模様があります。

上流 中流 下流



ヌマチチブ (ゴリ)

体は明るい褐色から黒色で、体中に青白色の斑点が、胸びれの付け根に黄色の帯があります。

上流 中流 下流



ボウズハゼ

吸い付く口と腹びれが変化した吸盤で、垂直の壁でものをぼります。準絶滅危惧(※)

上流 中流 下流



カマツカ

ひげがあり、砂の中のエサを砂ごと吸い込み、砂だけをえらから出して食べます。

上流 中流 下流



カワアナゴ

大型のハゼの仲間で、角ばった体の特徴です。環境に合わせて激しく体色を変化させます。準絶滅危惧(※)

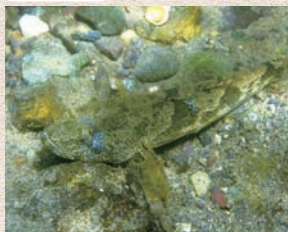
上流 中流 下流



ウロハゼ

海水の混ざり合う汽水域に生息する大型のハゼで、全長25cmほどになります。

上流 中流 下流



ドンコ

アユカケに似ていますが、アユカケより小さな頭とザラザラしたうろこで区別できます。

上流 中流 下流



スズキ

本来は海産魚ですが、トリム公園付近まで遡上します。大きなものは全長1mを超えます。

上流 中流 下流



ブルーギル

在来種が食害にあうことから特定外来種に指定され、放流、飼育、生体での運搬等が禁止されています。

上流 中流 下流



ヨウジウオ

タツノオトシゴとは近縁で、汽水域の藻場の消失に伴い数を減らしています。絶滅危惧1A類(※)

上流 中流 下流



メダカ

以前は水路などで普通に見られましたが、水路のコンクリート化により急速に数を減らしています。準絶滅危惧(※)

上流 中流 下流



サワガニ

河川に生息するカニ類で唯一、一生を川で過ごします。茶色や青色の個体もあります。

上流 中流 下流



モクスガニ (ツガニ)

ハサミに軟毛が生えています。川をのぼって成長し、海に下って産卵します。高級食材の上海蟹とは近縁で、美味。

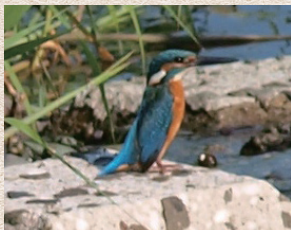
上流 中流 下流



テナガエビ

オスは体長よりハサミが長くなります。夜行性で流れの緩い場所を好み、昼間は石の下や水草の茂みにいます。

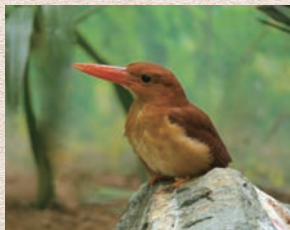
上流 中流 下流



カワセミ

上流から下流まで生息し、「川の宝石」とも言われる非常に美しい鳥です。準絶滅危惧(※)

上流 中流 下流



アカショウビン

カワセミ科。夏鳥として溪流の林に生息します。準絶滅危惧(※)

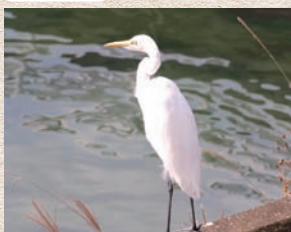
上流 中流 下流



コサギ

小型の白鷺類で、夏羽では後頭部から出る2本の長い冠羽が特徴です。

上流 中流 下流



チュウサギ

夏鳥として渡来。コサギよりひとまわり大きく、足全体が黒いことでコサギと区別できます。準絶滅危惧(※)

上流 中流 下流



ダイサギ

夏鳥として渡来。白鷺類の中では最も大きく、足・くちばし・首とも長いのが特徴です。

上流 中流 下流



アオサギ

日本のサギ類では最も大きく、青灰色の体の特徴です。

上流 中流 下流



ゴイサギ

サギ科。普段は首を縮めて背中を丸めています。後頭部から白く長い冠羽が出ています。

上流 中流 下流



ササゴイ

サギ科。夏鳥として渡来。ゴイサギよりひとまわり小さく、首が長めです。準絶滅危惧(※)

上流 中流 下流



セグロセキレイ

中流から下流に生息し、よく尾を上下に振っています。高知市の鳥に指定されています。

上流 中流 下流



ハクセキレイ

セグロセキレイに似ていますが、顔が白いことで区別できます。

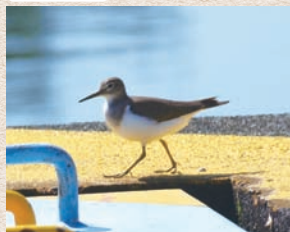
上流 中流 下流



キセキレイ

上流から下流に生息します。黄色い腹部が特徴です。

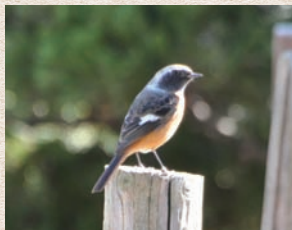
上流 中流 下流



イソシギ

下流から海岸に生息。長くくちばしと白い腹部が特徴です。

上流 中流 下流



ジョウビタキ

冬鳥として渡来。翼に白い斑があり、オスは腹部が橙色をしています。

上流 中流 下流



イソヒヨドリ

複雑な節回りで美しい声で鳴きます。分類上はヒヨドリ科ではなくツグミの仲間です。

上流 中流 下流



ヒヨドリ

頭頂部の冠羽が目立ち、ピーヨピーヨと大きな声で鳴きます。

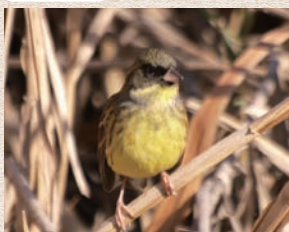
上流 中流 下流



ムクドリ

群れを作る習性が強く、夜は1ヵ所に集まってねぐらを形成します。

上流 中流 下流



アオジ

ホオジロ科。山地で繁殖し、秋冬には低地のやぶに移動します。

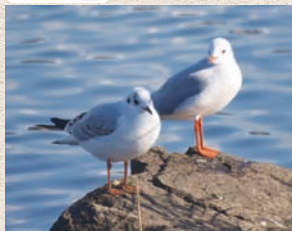
上流 中流 下流



カワガラス

上流から中流に生息し、水に潜って昆虫などを食べます。

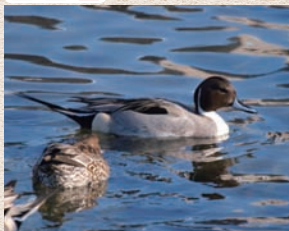
上流 中流 下流



ユリカモメ

冬鳥として渡来し、群れを作って生活します。

上流 中流 下流



オナガガモ

冬鳥として渡来。長く伸びた尾が特徴です。

上流 中流 下流



ヒドリガモ

冬鳥として渡来。オスはクリーム色の額が特徴です。

上流 中流 下流



ハヤブサ

クイナ科。額とくちばしが白く、体は黒いのが特徴です。

上流 中流 下流



トビ

猛スピードで急降下して飛んでいる鳥を蹴落とし、空中で捕らえます。絶滅危惧IA類(※)

上流 中流 下流



トビ

日本のワシカ科で唯一尻尾が凹型をしています。